

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調整費

事業名 現代陶芸美術館推進費（環境整備）

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

現代陶芸美術館 総務部 管理調整係 電話番号：0572-28-3100(内103)

E-mail：c21802@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 24,454 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	24,454	0	0	0	0	0	0	0	24,454
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

○現代陶芸美術館施設の環境整備のための経費

【移動展示ケース内照明のLED化】

美術館における照明のLED化について、天井照明およびウォールケース内（R4完了）、蛍光灯用展示ケース（対象15ケース、R10完了予定）はすでに着手しているが、ハロゲンランプ用展示ケース（対象75ケース、該当箇所120か所）は未着手となっている。とくに、現在使用しているハロゲンランプについては、美術館等専用のものであり、数年のうちに廃盤となる可能性があり、その場合、ケースから作品に照明を当てることができなくなり、実質的に展示が困難となる。

【収蔵庫整理事業】

(ア) 現状

- ・ 作品収集活動（H14開館～）の結果、「収蔵庫A」が満杯に近くなっている。
- ・ 大型作品・中型作品の一部を、庫内の通路や庫外にも置かざるを得ない状況。
- ・ 大型作品を庫内前半部を保管エリアに当てているが、収納スペースが無い。
- ・ 令和2年度に収納スペースを増やすため、収蔵庫Aの前半部に収納棚21台を設置したが、設置以降の新収蔵作品により埋まった。

(イ) 課題

- ・ 今後も作品収集活動を継続するために、保管スペースを作り出す必要がある。
- ・ 所蔵作品を適切に管理し、展示事業等に活用するために、所蔵作品の移動可能なスペースを確保する必要がある。
- ・ 上記の各スペースを確保するためには、収蔵庫の増設が最も望ましいが、その前段階として、早急に対応可能な方法を検討・実施する。

- ① 大型作品を館内またはセラミックパークMINO内（屋内外）に展示
- ② 収蔵庫A内の整理（棚の高い部分での保管、梱包のコンパクト化等）

③大型作品の館外の施設で保管

(2) 事業内容

【移動式展示ケース内照明のLED化】

- 展示ケース用LED光源ボックスの取替（展示ケース26台（光源ボックス40台）
 - ・LED光源ボックス、同アダプター、同変換フィルター取替、既存ボックス処分
- ※LED化未完了：75台（光源ボックス120台）。展覧会で使用する台数が多い展覧会で50台程度のため、3年計画（R6：26、R7：24、R8：25）でLED化を実施。

【収蔵庫整理事業】

- (ア) 大型作品の展示
 - ・屋内展示：当館内またはセラミックパーク内
候補作品：若干数
 - ・屋外展示：セラミックパーク内
候補作品：齋藤敏寿作品1点（23梱包）
- (イ) 収蔵庫内の整理
 - ・収納棚の高い部分での保管も行うために、所蔵作品の配備を整理。
 - ・高い棚からの作品移動を容易にする作業用備品を整備。
作業台：高さ100～150cm程度、作業員2名が乗って作業できるもの
荷物リフター：昇降高150cm程度、耐荷重500kg以上、手動式
 - ・嵩ばっている梱包をコンパクトなものに切り替える。
- (ウ) 大型作品の館外保管のための調査
 - ・県有施設または県内施設での保管の可能性を調査する。
（輸送業者の倉庫は、保管料が高額[1,650千円/月]のため利用困難）
候補作品：田嶋悦子作品3点（90梱包）徳丸鏡子作品1点（21梱包）
井田照一作品1件（17梱包）

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	166	作品展示関係調整、館外保管施設調査
消耗品費	793	ハロゲンランプ、事務用消耗品
修繕料	21,442	展示ケース用LED光源ボックス取替
役員費	60	通信運搬費
委託料	1,135	大型作品屋内外展示、収蔵庫内整理等
備品購入費	858	収蔵庫内作業用備品
合計	24,454	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 国・他県の状況

- 茨城県陶芸美術館：107台（LED済 0台） R6予算要求（91台更新：281,675千円）
- 愛知県陶磁美術館：87台（LED済 24台） R6・7LED化予定（21台：24,388千円）
- 滋賀県陶芸の森陶芸館：50台（LED済 3台） LED化検討中（時期未定）
- 兵庫陶芸美術館：48台（LED済 0台） LED化検討中（時期未定）
- 山口県萩美術館・浦上記念館：41台（LED済 26台） LED化未定

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

現代陶芸美術館設備等の環境整備を行い、常に適正な状態にする。

【移動式展示ケース内のLED化】

展示ケース用のハロゲンランプは近年中に製造中止が見込まれ、ハロゲンランプ使用の展示ケースのLED化を進めたい。複数年をかけて実施する場合、その間のハロゲンランプをあらかじめ購入する必要がある（寿命約1000h、1日8h使用で約半年）、短期間での実施が最も効率的である。

【収蔵庫整理事業】

所蔵作品の収納等スペースを令和6年度内に増やす。（大型作品の展示、収蔵庫内の整理）

大型作品を館外保管することについて、令和6年度内に調査・検討を行う。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R)	達成率

○指標を設定することができない場合の理由

美術館の設備、備品の環境整備を目的としており、指標を設定するには適していない。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和3年度	<p>○取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天井照明、ウォールケース内照明のLED化 <p>○成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セラミックパークMINO照明設備改修工事の着工
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和4年度	<p>○取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天井照明、ウォールケース内照明のLED化 <p>○成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セラミックパークMINO照明設備改修工事の完了
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <small>3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	<p>美術館の環境整備事業であり、館が存在している限りには必須である。また、県民をはじめとする来館者にとって重要な美術館活動は展示であり、それに使用する展示ケースを整備することも、美術館活動の展開のために必要である。</p>
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <small>3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価)	<p>館の適正な環境整備が図られており事業の効果が現れているが、移動式展示ケースのLED化については、可能な限り早急に必要である。大型作品を施設内外に展示、館外市節での保管できれば、収納スペース (大型作品収納エリアの約1/3) を確保できる。</p>
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) <small>2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</small></p>	
(評価) 2	<p>展示ケースに関しては、新規調達した場合、多額の費用を要するため、照明をLED化することによって経済面でも有効である。</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 所蔵作品の収納スペースを確保する課題にとって、根本的な改善策は収蔵庫の増設であり、それまでの次善策は、大型作品の多くを館外施設で保管することである。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 美術館の環境整備は、美術館が存続している限り必要な事業であり、当館が県の重要な地場産業と連携し、現代の陶芸文化を発信していくためには、展示活動を支える設備等を整備することが不可欠である。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	<p>【〇〇課】</p>
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	